

第1章 総括部分（連絡会議）

1．本調査の概要

1 - 1 調査の趣旨

現在、日本の多くの地域では自動車に過度に依存した社会が形成されている。自動車は一個人にとっては便利で快適なものであるが、その反面渋滞問題や中心市街地の空洞化などの社会全体としての新たな問題も生じさせている。一方、高齢化の急速な進展や地球環境問題の深刻化など、われわれが新たに直面する課題もある。これらの諸問題に対応した地域のあり方が求められる中で、公共交通を中心とした地域づくりが注目されている。それは高齢者等の交通弱者の移動自由度を高め、環境負荷が小さい交通手段である公共交通と、その公共交通の周辺に地域の必要な都市機能を集中させた回遊性の高い中心市街地の両者を併せ持つ地域である。特に地域の既存ストックであるにもかかわらず衰退している鉄軌道、中心市街地を連携させて活性化することが、公共交通を中心とした地域づくりには不可欠である。本調査は、既存ストックである鉄軌道の有効活用策および中心市街地の活性化策の連携を通じて公共交通を中心とした地域づくりのあり方について構築しようとするものである。

1 - 2 調査の目的

本調査は、過度に自動車に依存した社会ではなく、高齢者、障害者、子ども、観光客などあらゆるひとや地球にやさしい公共交通を中心とした社会のあり方について検討することをめざす。そのために既存ストックである鉄軌道の活性化方策、中心市街地の活性化方策、公共交通体系のあり方等を検討し、公共交通を中心とした地域づくりの具体化を目的とする。

1 - 3 調査の実施主体

【調査実施主体】

国土交通省北陸信越運輸局企画部企画・情報課、中部運輸局企画振興部企画課、中国運輸局企画振興部企画課、九州運輸局企画振興部企画課
富山県富山市、岐阜県岐阜市、三重県いなべ市、広島県広島市、熊本県
経済産業省商務流通グループ中心市街地活性化室

【その他の参加主体】

国土交通省北陸地方整備局、中部地方整備局、中国地方整備局、九州地方整備局
経済産業省中部経済産業局、中国経済産業局、九州経済産業局
富山県、熊本県熊本市、熊本県西合志町 等

1 - 4 調査の検討フロー

本調査の検討フローを図 1-1 に示す。

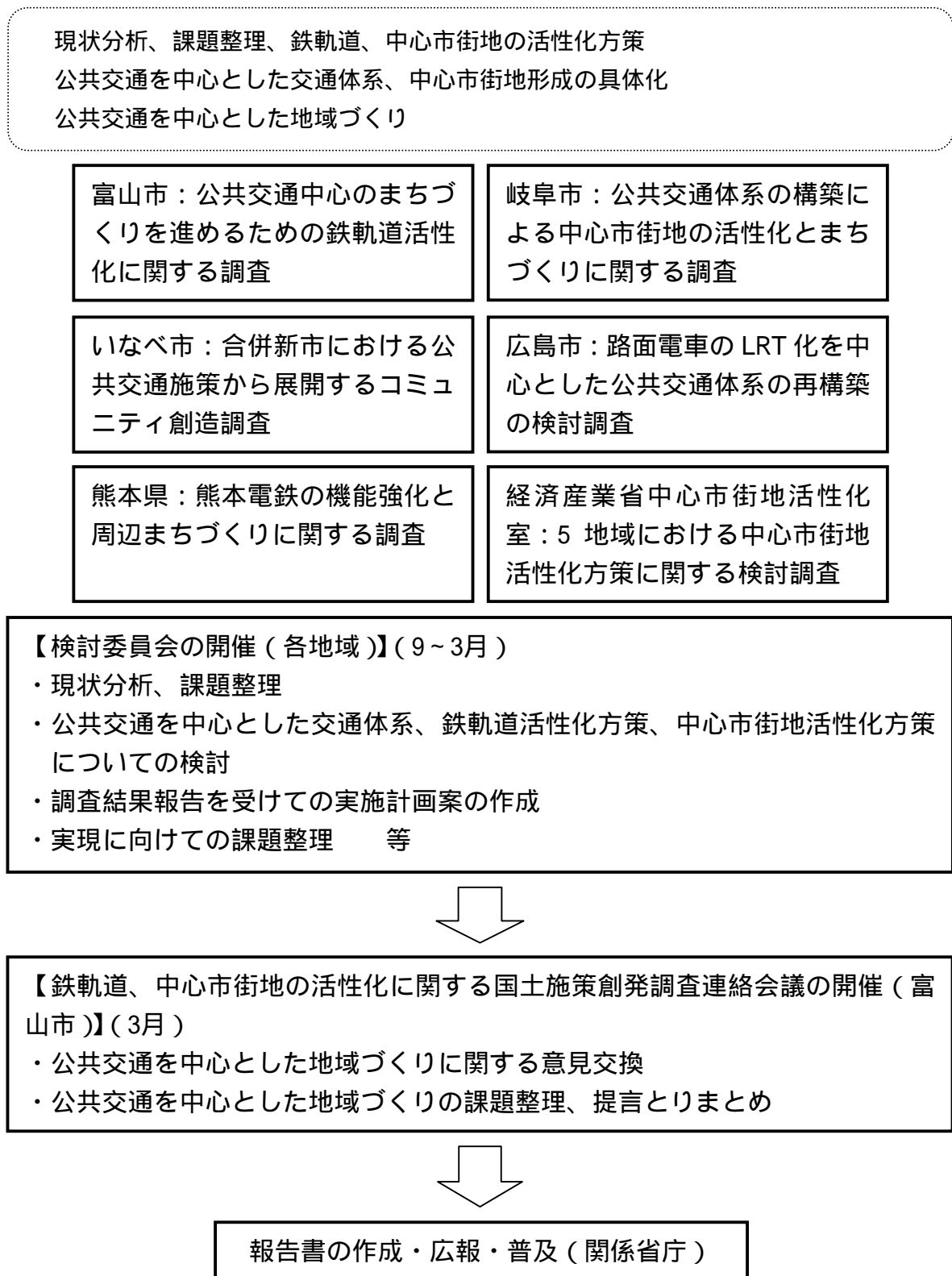


図 1-1 本調査の検討フロー

2. 連絡会議の概要

2-1 プログラム

3月25日(土)に富山市内(会場・ポルファートとやま)で「鉄軌道、中心市街地活性化に関する国土施策創発調査連絡会議」を開催した。参加者は57名であった。連絡会議の当日プログラムを表2-1に示す。

表2-1 連絡会議のプログラム

時 間		内 容
現地視察	08:15~08:30	富山駅北口集合
	08:36	JR富山港線乗車、富山駅出発
	08:55	岩瀬浜駅到着
	08:55~09:05	岩瀬浜駅にて富山市港線LRT化、乗継円滑化、フィーダーバスなどの説明
	09:05~09:10	貸切バスにて移動
	09:10~09:30	岩瀬浜地区にて、岩瀬景観まちづくり啓発事業、まちづくり交付金などの説明
	09:30~10:00	貸切バスにて移動(LRTのルートを併走)
報告会	10:15~10:25	・開 会 開催地歓迎挨拶(富山市助役)
	10:25~12:10	・報告会 ・国土施策創発調査の成果報告 10:25~10:40 富山市 10:40~10:55 岐阜市 10:55~11:10 いなべ市 11:10~11:25 広島市 11:25~11:40 熊本県 ・国土施策創発調査の成果報告および役割・支援の説明 11:40~11:55 経済産業省中心市街地活性化室 ・国土交通省の役割・支援の説明 11:55~12:10 国土交通省総合政策局交通計画課
12:10~13:10		昼 食(富山駅周辺整備事業の紹介)
意見交換会	13:10~14:50	・意見交換会(司会進行:土井勉・神戸国際大学教授) ・公共交通の活性化に向けた取り組みや課題について ・中心市街地活性化に向けた公共交通との連携のあり方について
	14:50~15:00	・閉 会 閉会挨拶(国土交通省北陸信越運輸局企画情報課長)

2 - 2 現地視察の概要

報告会の始まる前に LRT 化が進められる J R 富山港線やまちなみ景観を生かしたまちづくりを進めている岩瀬浜地区の現地視察を実施した。

【 J R 富山駅北口での現地説明】

J R 富山駅北口において、富山港線の現状と LRT 化に伴う路線新設工事の概要について説明を行った。



図 2-1 J R 富山駅北口での説明の様子

【岩瀬浜地区での現地説明】

岩瀬浜地区における歴史的建造物の改修工事を視察するとともに、街路修景工事の概要について説明を行った。



図 2-2 岩瀬浜地区での視察の様子

2 - 3 報告会の概要


午前中の報告会では、富山市、岐阜市、いなべ市、広島市、熊本県、経済産業省が調査・検討を行った内容について報告するとともに、国土交通省から公共交通の活性化に向けた支援や役割についての報告が行われた。各機関の報告内容を以下に示す。

富山市

鉄軌道、中心市街地活性化に関する
国土施策創発調査連絡会議資料

鉄軌道のイメージ新による 「質の高い」ライフスタイルの創造

鉄軌道の活性化による公共交通を中心とした地域づくり検討会




富山市都市計画課

鉄軌道、中心市街地活性化に関する
国土施策創発調査連絡会議資料

富山市の現状と課題

- 人口約32万人の県庁所在地
- 江戸時代から城下町として発展し、現在は日本海側有数の商工業都市に
- 本年4月に周辺6町村と合併【課題】
- 中心市街地の空洞化の進行
- 郊外市街地での高齢化の進行
- 自動車への過度の依存傾向



鉄軌道、中心市街地活性化に関する
国土施策創発調査連絡会議資料

富山市のめざす交通のすがた

(富山市都市交通マスタープランより)

【基本理念】

- クルマに過度に依存している生活を見直し、誰もが多様なライフスタイルを享受できる、豊かな生活を実現する



【テーマ】

- 北陸新幹線を見据えた高速交通ネットワーク
- 中心市街地へのアクセス・回遊ネットワーク
- 中心部への直接到達ネットワーク
- 郊外拠点への自動車を中心としたネットワーク

鉄軌道、中心市街地活性化に関する
国土施策創発調査連絡会議資料

鉄軌道活性化に向けた動き

- JR富山港線のLRT化に合わせたサービスレベルの大幅向上
- 呉羽地域での自主運行バスの運行実験
- 地鉄本線の高頻度化・終電車の繰り下げ
- 北陸新幹線の整備と富山駅周辺連続立体化

鉄軌道、中心市街地活性化に関する
国土施策創発調査連絡会議資料

富山市のめざす交通のすがた

(富山市都市交通マスタープランより)

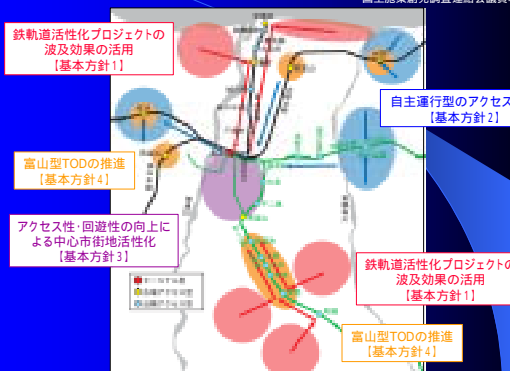
【基本理念】

- 誰もが多様なライフスタイルを享受できる交通体系を実現する

【テーマ】

- 主要都市間を結ぶ広域交通ネットワーク
- 都心部内の主要拠点の回遊ネットワーク
- 郊外から中心部への直接到達ネットワーク
- 郊外(交通)拠点へのアクセスネットワーク

鉄軌道、中心市街地活性化に関する
国土施策創発調査連絡会議資料



鉄軌道活性化プロジェクトの波及効果の活用【基本方針1】

自主運行型のアクセス整備【基本方針2】

富山型TODの推進【基本方針4】

アクセシビリティ・回遊性の向上による中心市街地活性化【基本方針3】

鉄軌道活性化プロジェクトの波及効果の活用【基本方針1】

富山型TODの推進【基本方針4】

鉄軌道、中心市街地活性化に関する
国土施策創発調査連絡会議資料

基幹交通のサービスレベルの向上に合わせた公共交通の再編による波及効果の活用

- 富山港線のLRT化をはじめとして、今後富山市では公共交通の利便性向上に向けたさまざまなプロジェクトが展開することから、これらの波及効果を活用した鉄軌道の活性化をめざす。

【実現する施策】

- フィーダー交通の導入
- 基幹交通とフィーダー交通等との乗継円滑化
- パーク＆ライドシステムの導入

鉄軌道、中心市街地活性化に関する
国土施策創発調査連絡会議資料

JR 富山港線浜黒崎地区、四方・草島地区をモデルとして検討

鉄軌道、中心市街地活性化に関する
国土施策創発調査連絡会議資料

郊外市街地での鉄道駅までのアクセス機能の整備

- 郊外に高齢化の進行する市街地がいくつか見られることから、今後の高齢社会を見据えたアクセス機能を確保するための効率的な公共交通システムの導入をめざす。

【実現する施策】

- 地域の自主運行型を含むコミュニティバスやコミュニティタクシーの導入
- パーク＆ライド・サイクル＆ライドシステムの導入
- 郊外駅の活性化に向けた駅周辺の集客施設等の整備

鉄軌道、中心市街地活性化に関する
国土施策創発調査連絡会議資料

水橋地区 (JR 水橋駅、地鉄越中三郷駅) をモデルとして検討

鉄軌道、中心市街地活性化に関する
国土施策創発調査連絡会議資料

アクセス性と回遊性の向上による中心市街地の活性化

- 中心市街地の空洞化、トリップの減少などが進んでいることから、乗継円滑化などによる中心部へのアクセス性の向上や回遊性の高いネットワークの構築をめざす。

【実現する施策】

- 交通と商業の連携による中心市街地への来街者増加策
- 電停における待ち環境の向上
- 中心市街地への通勤を対象とした割引制度の導入

鉄軌道、中心市街地活性化に関する
国土施策創発調査連絡会議資料

土地利用と連携した公共交通活性化 (富山型TOD)の推進

- 鉄道駅の至近距離にあるにもかかわらず、線路を挟んだ片側からしかアクセスできないため開発されていないエリアにおいて、鉄道のサービスレベルの向上を図りながら、富山型TODの推進をめざす。

【実現する施策】

- 鉄道が利用しやすい住宅・商業施設等の整備の誘導・支援